

科目番号	52022	分類	母子保健学	履修者	高度実践助産コース	学年		
科目名	地域母子保健学特論 (Theory of Maternal and Child Health in the Community)					1		
						配当セクター		
						前期		
担当者	○橋本 美幸、福島 富士子 萩原 玲子	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概要】 変化する社会における地域母子保健の今日的課題について理解し、地域母子保健の意義について理解する。また、地域母子保健の政策・事業を概観し、その活動状況や課題を調査・分析し、その評価や対策について考え学ぶ。						○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力	
【目標】 1. 地域母子保健の意義について説明できる。 2. 地域母子保健に関わる政策および事業について説明できる。 3. 変容する社会における母子保健の課題について説明できる。 4. 課題解決のための計画立案・対策を検討するのに必要な理論や方法について学ぶ。 5. 地域母子保健活動における助産師の役割について理解し、考察できる。						○	2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力	
						○	3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
							4. 周産期の救急時に対応できる能力	
						○	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6. 研究・開発能力	
							7. 倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
1回	地域母子保健の概論						橋本	
2・3回	地域母子保健の現状と課題						福島	
4回	地域母子保健活動の実際 1) 保健所・地域保健センターにおける母子保健活動 2) 地域母子保健チームと助産師の役割 地域において助産師に期待される役割						橋本	
5・6回	3) 地域母子保健活動における助産師の機能、活動の展開 産後ケアセンターと地域連携						萩原	
7回	地域診断と助産ケア						橋本	
8回	地域母子保健活動における事業・ケアの資質向上のための方策							
事前・事後学習	事前学習：母子保健行政のHPを読んで、予習してくる事。 事後学習：配布資料を復習する。レポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。							
評価の方法	レポート（70%）、授業・討論への参加状況（30%）にて総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	適宜紹介する。							
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							